未来へつながる はじめの一歩

潜在保育士の就職と保育所の対応事例

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県保育士・保育所支援センター

はじめに

現在、国において「待機児童解消加速化プラン」が策定され、保育を支える保育士の確保に向けた総合的取り組みが進められている中、平成29年末には全国で保育士が約7万人以上不足することが見込まれており、保育士の確保が重要となっております。

このような中、保育士の資格を持ちながら、保育士として働いていない方々は全国に約60万人いると言われており、それら潜在保育士がいかにして保育現場に復帰してもらえるかが課題となっております。

また、潜在保育士が、保育所に就職するに当たり「ブランクの長さ」「働ける時間が限られている」「体力への不安」等、様々な不安を抱えていることも事実です。

今回の事例集では、ブランク等がありながらも実際に保育所に就職した方々を取り上げ、就職までの経緯、就職してみての感想などを掲載しました。

また潜在保育士を雇用した保育所についても、求職者の立場に立った柔軟な採用方法等、各保育所側の工夫も取り上げております。

同じ不安を抱えた方が、現在どのように活躍しているのか、どのような勤務形態で働いているのかなどを参考にしていただき、保育所への就職を身近なものに感じていただけたら幸いです。

平成27年3月

社会福祉法人　福島県社会福祉協議会

福島県保育士・保育所支援センター

CONTENTS

CASE 1　30年のブランクを経て、フルタイムで再就職　子どもに関わりながら自分も成長できる素晴らしい仕事　P.4

CASE 2　他職種で定年退職後、フルタイムで就職　保育士の資格を活かして再就職　働く若いお母さんを支えます　P.6

CASE 3　結婚を機に保育士を退職、その後パートタイムで再就職　深く遊び込んでいく子どもたち　寄り添う度に保育の喜びを感じます　P.8

CASE 4　通信教育で保育士資格を取得、パートタイムで就職　通信教育で保育士資格を取得。子育てを仕事に活かし、毎日が充実しています　P.10

Q&A

保育士の資格を持ちながら就業していない潜在保育士のみなさんが「お勤めしたい」と思う時に、出てくる疑問にお答えします。ぜひ、参考になさってください。

Q1 保育士として働くために必要な「保育士登録」について教えてください。

A 児童福祉法の改正により、平成15年11月29日から保育士の定義が変わりました。「保育士」として働くには、業務に就く前に、都道府県知事に対して登録申請手続きを行い、保育士証の交付を受けることが必要になりました。保育士証の交付を受けてはじめて、保育士として働くことができます。登録・登録内容の変更（名字等）は全て、「登録事務処理センター」で行っています。ちなみに登録まで最短で2カ月かかります。

問い合わせ先●**登録事務処理センター　TEL 03-3262-1080**
http://www.hoikushi.jp/index.html

Q2 保育士の資格を生かせる施設って、どんな施設がありますか？

A 保育士の資格を必要とする施設は、認可保育所、認定こども園、小規模保育などがあります。認定こども園は、幼児教育と保育を一体的に提供する施設として、知事の認定を受けた施設で地域における子育て支援も行います。

Q3 求人情報が欲しいのですが入手方法がわかりません。

A 県保育士・保育所支援センターに来所・電話・メールなどでご相談ください。求職者の条件に合った求人をご自宅に郵送いたします。求人情報の提供だけでなく、現在の保育所の状況、求職に関する相談なども受け付けております。

問い合わせ先●**福島県社会福祉協議会人材研修課**
福島県保育士・保育所支援センター　TEL 024-521-5662
メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

Q4 資格は持っているのですがブランクがあって不安です。

A 大丈夫。大切なのは「子どもが大好き！」という気持ちです。一度に全て完璧にできるなんてあり得ません。分からないところは、先輩保育士に聞きながらできることを増やしていきましょう。福島県保育士・保育所支援センターが主催している「保育士再就職支援セミナー」（全3回）もおススメです。結婚や育児で保育の現場を離れてブランクのある方、資格は持っているけれど現場未経験の方などを対象に、安心して保育所に再就職できるよう必要な知識・技能を習得してもらうことを目的に開催していますので、きっと役に立つはず。1回だけでの参加も可能です。職場体験を希望される方は、1回目または2回目いずれかを受講することが必要です。せっかく取得した保育士資格です。ぜひ、活かしましょう。あなたの温もりを子どもたちが待っていますよ。

問い合わせ先●**福島県社会福祉協議会人材研修課**
福島県保育士・保育所支援センター　TEL024-521-5662
メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

Q5 年齢的に体力が持つか不安です。

A 働く時間や仕事内容を調整して、朝の受け入れ時間だけとか、1日4～5時間のパートタイムなど、ご自分のライフスタイルに合う働き方を考えてみませんか？県保育士・保育所支援センターでは、求職者と施設の橋渡し役として、求人情報の提供だけでなく保育所と求職者のニーズ調整も行っています。気軽にご相談ください。

問い合わせ先●**福島県社会福祉協議会人材研修課**
福島県保育士・保育所支援センター　TEL024-521-5662
メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

Q6 これから保育士の資格を取得したいのですが、どんなルートがあるのでしょうか。

A 保育士になるには、2つのルートがあります。
①保育士の資格が取得できる養成学校（大学・短大・専門学校）で学ぶ方法です。この場合、「保育士」と「幼稚園教諭」のダブル取得ができる学校も多く、両方を取得される方も多いようです（認定こども園の職員「保育教諭」は両方の免許・資格を有していることが原則）。②「保育士試験」を受験して資格を取得する方法です。
保育士試験は、平成16年度から全国統一問題となり試験も同日開催となりました。筆記試験と実技試験が行われ、筆記試験の全科目に合格しないと実技試験を受けることはできません（幼稚園教諭免許状の保有者は実技試験免除）。実技試験も合格すると合格通知書が発行され、保育士登録ができます。保育士証が交付されれば、保育士として働くことができます。

問い合わせ先●**福島県保健福祉部子育て支援課　TEL024-521-7198**
社団法人全国保育士養成協議会保育士試験事務センター　0120-4194-82　http://www.hoyokyo.or.jp/

子どもに関わりながら自分も成長できる素晴らしい仕事

結婚して2人のお子さんに恵まれた志賀みゆきさんは、子育てがひと段落したことをきっかけに保育士の資格を活かして働きたいと思うようになりました。会津若松市主催の保育士再就職セミナーを経て現在、フルタイムで仕事をしています。ベテラン先生の素敵な保育に出会う度、「明日もがんばろう」と思うと話す志賀さんに、背中を押してくれたものや保育園で働く楽しさを伺いました。

面川報徳保育園

志賀 みゆき 先生

プロフィール●昭和58年3月に保育士・幼稚園教諭二種免許を取得。幼稚園に2年間勤務後、子育てに専念。約30年のブランクを経て2014年7月より現職。0歳児クラスの複数担当の1人として活躍中。50代。

働きたい気持ちをより強くさせた保育士復帰研修会

下の子が大学に進学して時間に余裕ができたことが再就職を考えるきっかけになりました。「やり残したことはないか」と考えた時に、保育士の資格を活かしたいと思いました。しかし、働きたい気持ちはあっても、実際に受け入れてもらえる施設がないと働けません。しかも私は、幼稚園で働いた経験と子育て、孫育ての経験はありますが保育の経験はゼロです。そんな時に偶然目にしたのが、会津若松市の市政だよりに掲載されていた市主催の潜在保育士を対象にした復帰支援研修会の案内でした。

2014（平成26）年6月23日と24日に開催された研修会では、現役で保育をなさっている先生方に「毎日、こんな保育をしているんですよ」というお話を聞いた後、市内の保育園に出かけて保育の現場を見学させていただきました。認定こども園にも行きました。子どもたちの笑顔と元気に触れると、ますます働きたい気持ちが強くなりました。

▲保育士としてフルタイムで働く志賀みゆき先生

求職登録を済ませると間髪入れず求人の連絡が

早速、福島県保育士・保育所支援センター（以下支援センター）に求職登録しました。働くことを夢見てワクワクする一方で、自分の年齢や保育の経験がないことなどを考えると不安に思う日があったことも事実です。急がなくてもいいと思っていたところ6月末、ハローワークから連絡が入りました。社会福祉法人会津報徳会　面川報徳保育園（以下、面川報徳保育園）で保育士を募集しているというのです。そこから先は、トントン拍子で話が進み7

▲つぼみ組（0歳児クラス）の保育士。左から千葉かおるさん、志賀みゆきさん、佐々木智美さん

施設紹介

社会福祉法人　会津報徳会　面川報徳保育園

所在地	〒965-0828 福島県会津若松市門田町大字面川字舘堀74		
園児定員数	45名	職員数	17名
URL	http://www.houtoku.org/cgi/omokawa/top.cgi		

月1日からフルタイムで働くことになりました。

0歳児クラスの担任としてフルタイムで働いています

子どもたちが私のことを「みゆき先生」と呼んでくれる面川報徳保育園は、自宅から車で約15分のところにあります。園長先生は、とてもおだやかな人柄で、主任はじめ先生方は皆さん経験豊富なベテラン保育士。感動体験を通して子どもたちが自ら成長しようとする力を存分に発揮できる保育をと奮闘しています。

フルタイムで働いていますが、慣れるまでの1カ月間は早番、遅番の交代勤務無しにしていただけました。0歳児クラスを3人の先生方と担当しています。先輩方が本当に素敵な保育をなさるので自分も早くそこに近づきたいと努力中です。

保育は子どもたちと一緒に自分も成長していける仕事

泣いている子どもへの対応も多様で、たくさんの引き出しを持っていらっしゃる先生方がうらやましくなります。一つ一つが勉強だと思って「今度は、こんなふうにしてみよう」「今度は…」と、自分なりに工夫をしながら保育をしています。私の思いが伝わって子どもが笑顔を取り戻した時などは、子どもに関わりながら自分も成長していける保育の仕事に感謝したくなります。不思議に落ち込むことがないのも先生方のお陰です。「だめだめ、それくらいのことで落ち込んでは」「慣れないときは、私もそうでしたよ」など、温かい励ましもうれしく「明日もがんばろう」と思う毎日です。

施設長より

和気あいあいとした職場 素敵な笑顔でフルタイム勤務

園長　遠藤　登佑
主任　平岡　和枝

志賀みゆき先生とは、ハローワークを通して出会いました。出産を機に退職を決めた職員の後任として複数担任のクラスで働いていただける保育士を募集したところ、タイミングよくご紹介いただきました。フルタイムで働くことを希望されていたので園長先生も私もご縁に感謝しました。面接で幼稚園にお勤めされていた経験などもお聞きし、保護者の皆さんとのやりとりも慣れていらっしゃるように感じました。何よりも笑顔が素敵な方でしたので、ぜひ、一緒に働いてほしいと思いました。お母さん、お父さんは、受け入れの時の保育士の笑顔に安心感を得て「よ～し、今日も一日がんばるぞ」と仕事に向かわれます。志賀先生は、保育士として一番大事なものをお持ちでした。

うちの保育園は、こぢんまりとしていて職員同士も和気あいあいとした感じですので、職場にもすぐ馴染まれたようです。クラスの距離も近く季節の行事を楽しんだり、和太鼓やマーチングの練習に励む大きい子どもたちの成長も目を細めながら見守ってくださっています。働き出して1カ月後には早番、遅番もこなし、現在は毎月1回の職員会議はもちろん会津若松市保育士会の研修会にも参加していただき成果を還元してもらっています。

社会福祉法人会津報徳会は、会津若松市内4カ所で保育園を運営していますが人手不足はいなめません。保育園は、園児の年齢に応じた保育士配置人数が定められておりますので、基準を満たさないと大切なお子さんをお預かりすることができない仕組みになっています。入園を待っているお子さんをお預かりするためにも、保育士の資格を持っていらっしゃる皆さんのお力をお借りしたいと、いつも考えております。

保育士の資格を活かして再就職 働く若いお母さんを支えます

定年を迎え、少しでも働くお母さんたちの役に立ちたいと学生時代に取得した保育士の資格を活かしフルタイムで働き始めた佐藤美智子さん。再就職に至った経緯と働く喜びをお聞きしました。

▲他職種で定年まで働いた後、学生時代に取得した保育士を活かしフルタイムで働く佐藤美智子先生

母親の再就職。遠方で暮らす子どもたちも賛成

定年を迎えて、「これから何をすればいいか」と考えた時に、4人の子どもを預けながら働いていた頃の苦労を思い出しました。私が周りの人にお世話になった分、今度は私が働きながら子育てをしているお母さん達を支えたいと思いました。遠方で暮らしている子どもたちも賛成してくれました。

実は、介護の勉強をしようかなと考えた時期もあったんです。以前、私の親が手術をした後、物忘れがひどくなってしまって…。お陰さまで回復できて事なきを得ました。その時に保育士の資格を再度、意識しました。

後で役立つかもしれないと保育士登録も済ませていました

私は、5人兄弟で育ちました。毎日精一杯働いている両親に、高校卒業後の自分の進路について「もっと勉強したいから学費を出して」とは言えませんでした。そこで短期大学で働きながら資格を取ることにしました。朝6時から現場で働いて夕方から短大に通いました。卒業後すぐに結婚。子育てをしながら他職種に就いたので保育に関わることはありませんでした。でも、苦労して取った資格でしたので、2003（平成15）年に児童福祉法の改正で「保育士」として働くために「保育士登録」が必要になった時も、後で役に立つかもしれないと思い登録しました。それが今、こんなふうに役立つとはね（笑）。

飯坂保育所

佐藤 美智子先生

プロフィール●短期大学で働きながら学び保育資格を取得。卒業後すぐに結婚、出産を経て30歳の時に他職種に就く。30年間勤め定年退職。2014年1月、福島県保育士・保育所支援センターに求職登録。同年5月から現職。60代。

支援センターの紹介で飯坂保育所の求人に応募

仕事探しのはじめの一歩は、電話でした。娘に教わった県保育士・保育所支援センター（以下、支援センター）に電話して希望を伝えました。支援センターの方には、自宅近隣の求人情報はもちろん、求人情報をネットで検索する方法まで教えていただきました。

その中で目に留まったのが常勤職員を募集している飯坂保育所の求人でした。通勤は車で約15分。ぜひ、働いてみたいと思い応募しました。

目標は子どもの成長を上手に引き出す保育士

2015（平成27）年1月で、お勤めを始めてから8カ月になりますが、

施設紹介

社会福祉法人　福島福祉施設協会　飯坂保育所

所在地	〒960-0201　福島県福島市飯坂町字桜下11-9		
園児定員数	90名	職員数	27名
URL	http://ffsk-c.jp/hoiku/index.php		

今も日々勉強です。保育は全くの未経験でしたが、保育所の計らいで支援センター主催の研修会に参加させていただきました。そこで、保育所の現状や子どもの発達を再確認することができ、自分の使命がとてもクリアになりました。

勤務は、最初からフルタイムです。現在は1歳児クラスで、お二人の先輩先生の保育がスムーズに流れていくよう気配りしながら働いています。子どもたちは、それぞれに個性があって、「この子はこういう仕事が向いているかもしれないな」なんて勝手に思いを馳せることも。子どもの成長を上手に引き出していく先輩の先生方の保育にあこがれながら、自分も！と思う毎日です。

できるところから始めて保育の喜びを感じては

働きたいと思いながらも年齢や体力的なことを考えるとなかなか前に踏み出せない方もいるかもしれません。一方で、しっかり子どもを見てくれる場所があったら若いお母さん達は、安心して働けます。何よりも子どもたちがかわいくて、活気があって一日があっという間に過ぎていきます。私が電話した支援センターでは、求職者の経験や希望に合う職場の紹介や勤務内容の調整もしています。できるところから始めてみると、働くスタイルが具体的になって世界が広がっていくと思います。

施設長より

保育の喜びを潜在保育士の皆さんと分かち合いたい

所長　鈴木　隆二

全国各地で保育士が不足しているなか、当保育所でも保育士確保には苦慮しています。ハローワーク、福島県保育士・保育所支援センター、大学、当協会のホームページ、地域のポータルサイトなどで常勤職員を募集していますがなかなか思うようにいきません。そうした時に支援センターで当保育所の求人を知り、電話をくださったのが佐藤美智子先生でした。お話しをすると、60歳を過ぎてもなお働く意欲に満ち溢れていました。一般企業からの転職という部分でも保育以外の豊富な知識と経験が現職員によい刺激になるのではと考え、本部と相談の結果の採用となりました。

当保育所では、「仲間とは」ということで、職員の意識を一つにしていますので、職員同士、「分からないところは聞く」「注意しなければならないところはきちんと伝える」など、何でも言える環境にあります。佐藤先生も壁を感じることなく溶け込めたと思います。クラスに入る時も、単なるお手伝いではないこともよく分かってくださっています。時間の経過と共に他職種で積んできた経験がじわりとにじみ出てくるはず。そうした味のある保育に期待しているところです。

また、当保育所では、独自の保育目標を立てたり、若い職員で「行事の見直し委員会」を作り話し合って中身を精査するなど、職員のマンネリズムを解消し、自主性を重んじアンダーアップで沸き起こる職員のやる気を大切にしています。特に大きな成果を上げているのが「小学生に送り出すまでどんな子どもにしたいか」というビジョン、つまり目標です。刷新された行事では、保育士の話を最後まできちんと聞かないと次の行動に移れないことが分かった子どもたちが、耳を澄まして注意深く聞くことが当然になって来ています。あるイベントでその成果を確信した職員が目に涙を浮かべながら報告してくれました。もちろんその喜びは、職員の働く意欲につながり、子どもたちの成長、保育所全体の活気につながっていきます。この保育の喜びをぜひ、潜在保育士の皆さんと分かち合いたいです。

深く遊び込んでいく子どもたち 寄り添う度に保育の喜びを感じます

宮城県内の保育所で6年間働いた経験を持つ相原真理子さんは、結婚を機に福島市内に引っ越しました。新居での暮らしに慣れることを最優先させながら、車イスを押すボランティアや児童図書の返却ボランティアなどを始めると、世界が広がり再就職の夢を抱くようになりました。希望は、パートで旦那様の扶養控除の範囲内で働くこと。夢を叶えた相原さんに背中を押してくれたもの、働く喜びをお聞きしました。

にわさか保育園

相原 真理子先生

プロフィール●保育士・幼稚園教諭一種免許を持つ。宮城県内の保育所に6年間勤務。結婚を機に退職し福島市内に引っ越し新居を構える。前職から1年半のブランクを経て現職。30代。

保育園の柔軟な対応でパートで働けることに

振り返るとあれよあれよと言う間に再就職が決まった私は、本当にラッキーだったと思います。2014（平成26）年9月12日に、福島県保育士・保育所支援センター（以下、支援センター）に電話をして登録を済ませて、12日後には再就職の内定をいただき面接を経て29日から働きだしたのですから。すごい勢いでしょう。

ただ一つ問題だったのが働く時間でした。当時、支援センターに登録されていた求人は、フルタイムで働ける保育士。私の希望は短時間。担当の方が「扶養の範囲で、午前中だけのパートで働きたいと考えておられるようです」と私のことを説明してくださると、とても柔軟な対応で「短時間ですね。わかりました」というお返事があり採用が決まりました。

▲午前9時から午後1時までのスポットタイムをパートで働く相原真理子先生

職員会議に出席し課題を把握 日々の保育に反映させています

久しぶりに入る保育の現場は、やはりちょっと緊張しました。でも、子どもの名前と顔が一致するようになると楽しくて、今では明日の仕事を待ち遠しく思うほどです。副園長先生はじめ先生方、皆さんが心地よい距離感で声をかけてくださるので、支えられ見守られながら働いていることを実感できます。短時間勤務なのでクラスは担当していません。その日の園児数に合わせて様々なクラスに入り、自分の保育経験を総動員させながら子どもたちと過ごしています。ですので、月1回全員参加の職員会議は、とても貴重な時間です。各クラスの課題や今大事にし

施設紹介

社会福祉法人　常照福祉会　にわさか保育園

所在地	〒960-2261　福島県福島市町庭坂字呑塚28		
園児定員数	70名	職員数	22名
URL	http://www.kosodate-web.com/niwasaka/		

ている援助を聞いて、翌日からの保育に反映させています。

求職登録時に自身の希望を正直に伝えて無理のない範囲で働く

私は、再就職して本当によかったと思っています。働く喜びは、随所にあります。工作遊びなど、一つのテーマを深く遊び込んで達成したときの喜びを「できた！できた！」「すごいすごい！」と分かち合えたり、パンツがはけたり、成長の瞬間に寄り添える喜びは、保育園ならではです。自分の生活にメリハリができましたし、仕事を通して仲間もできました。どうしようかと迷っている人がいたらぜひ、一歩踏み出してと伝えたいです。確かに「1年半もブランクがあるけど大丈夫か」「家事と両立できるか」「人間関係は？」とか、不安はあるのですが、踏み出してみると助けてくださる方、支えてくださる方がたくさんいることに気づきます。私の場合は、主人と実家の母の言葉に勇気をもらいました。大事なことは、求職登録時にちょっとわがままなということまで正直伝えるのがよいと思います。最初に「ここまでならできます」というのを提示しておけば、受け入れる側もそのつもりで採用してくださいます。無理をしないことが一番だと思います。

施設長より

働き方を柔軟に考えながら より良い職場を作っています

副園長　青柳　裕美子

よい保育は、職員の気持ちの安定から生まれます。うちの保育園では私も含めて職員同士、支え合い励まし合いながら働きやすい環境を作っています。クラス担任は、０歳から卒園まで持ち上がりで受け持つ保育士を１人設ける制度を採用しています。子どもを深く理解しながら育ちを見守ることができるので、「３歳までにはこうなっていてほしい」という見通しが持てるようになり、保育士の達成感にもつながっています。また、保護者の皆さんも年度末になる度、担任の先生が誰になるのかという不安から解放されるので、いつもどっしりとした安心の中で日々の保育が展開されています。

働き方も柔軟に考えるのがいいと思っています。今回の求人も当初、フルタイムで働ける方を求めていたのですが、相原先生は午前中だけ働きたいということでした。うちの保育園は、朝７時から夜７時までお子さんをお預かりしていますので、その中でフレキシブルに力を貸していただけるようにしたいと思い急きょ変更しました。

今は午前９時から午後１時の枠でお願いしています。子どもの出席の状況を見ながら臨機応変にクラスに入ってもらい、相原先生と交替する形でフルタイムで働く保育士が保育から外れて書類をまとめるなどしています。相原先生がいてくださるお陰でフルタイムで働く先生方の負担軽減もでき、本当に助かっています。しかも、現場経験が長いのでまかせて安心。子どもをみるセンスも温かで表情やしぐさの奥まで見てくださいます。

実は、相原先生と同時期に採用した保育士も、資格は持っているけれど一度も現場で働いた経験がないという女性です。「せっかく取得した資格を活かしたい」という前向きな姿勢に好感を持ち採用させていただきました。ところが、お子さんがまだ小さいため体調を崩されてお休みすることもあります。とはいえ、子どもは一日一日と育っていきます。私たちは、協力し合いながら、励まし合いながら、彼女が子育てをしながら保育の現場でいきいきと働けるよう願っているところです。

通信教育で保育士資格を取得。子育てを仕事に活かし、毎日が充実しています

通信教育で保育士資格を取得。福島県保育士・保育所支援センター（以下、支援センター）主催の再就職セミナーに参加して職場体験も経験。現在、パートタイム職員として週2回、子育て支援センターで働く齋藤美保さんに、資格取得のきっかけとパートで働く楽しさを伺いました。

子どもに勉強する姿を見せたい資格があれば自信になる

下の子が小学校に入学する時に「子どもに勉強しなさい」と言葉だけでなく、実際に勉強する姿を見せたいと思って通信教育を申し込みました。結婚してからずっと専業主婦でした。再就職のチャンスがあったとしてもブランクがあり過ぎて踏み出せないかもという一抹の不安もあり、資格があればとも思いました。

保育士を目指したのは、子育ての経験と知恵を活かせると思ったからです。テキストは全部で10科目。恐る恐るテキストを開いてみると、保育や子どもの食・栄養などは子育て、福祉制度の部分は介護などで経験していることが多く、人生経験や子育ての体験が知識となっているために「意外とわかる」「これならやれそう」と思いました。心理学のテキストに至っては、子どもを育てながら分かったことを文章にするとこんなふうになるのかもと思いながら読みました。同時に、子育て中疑問に思っていた事や知りたかった事の答えが沢山テキストに書いてあり、学習意欲がわいてきました。

▲通信教育で保育士資格を取得。再就職セミナーに参加。さくら子育て支援センターのパート職員として働く齋藤美保先生

さくら保育園

齋藤 美保先生

プロフィール●大学卒業後、企業勤務。2000年に結婚を機に退職。2012年に通信教育を始め、保育士試験に合格。2014年1月、保育士登録し、同年11月、福島県保育士・保育所支援センター主催の「保育士再就職支援セミナー」に参加。2015年1月より現職。40代

晴れて資格を取得。求職中に偶然知った再就職セミナー

2年かけて2013（平成25）年に晴れて保育士の資格取得。保育士登録も済ませたので、資格を活かして働きたいと思うようになりました。ところが、ハローワークに行ったり、新聞の折り込みチラシを見たりしたもののなかなか仕事は見つかりません。あったとしてもフルタイムや夜間保育など。私の希望「平日の午前中」という仕事は皆無でした。

そんな時に、投票所で偶然、支援セ

施設紹介

社会福祉法人　わたり福祉会　さくら保育園

所在地	〒960-8141　福島県福島市渡利字大豆塚7		
園児定員数	90名	職員数	42名
URL	http://watari-fukushikai.jp/140_sakurahoikuen.html		

ンター主催「保育士再就職支援セミナー」のチラシを見つけました。資格は取ったけれど実習の経験がなかった私は職場体験にも魅力を感じて参加しました。

セミナーでは、現場の先生方の講義「保育所の現状について」「子どもの発達・育ちとかかわり方」を聞いた後、参加者全員で意見・情報交換をする時間もありました。そこで初めて仕事がないのではなく、様々な求人があることが分かりました。職場体験も貴重な時間でした。

限られた時間の中で集中して働く喜び

ほどなくして求職登録を済ませてきた支援センターから「『午前中だけ』の仕事があります」と、連絡が入りました。以来、さくら子育て支援センターで働いています。

振り返るとあの時、子育てをしているからこそ出来ると思って「保育士」の勉強を始めて本当に良かったと思っています。

現在私は、週2回主に午前中、子育て支援センターのパートタイム職員としてお世話になっています。通勤も市内なので苦になりません。限られた時間の中で集中して働くことができるだけでなく、家事や子育ても両立できるのでとても充実しています。

施設長より

同じ保育士がそばにいると子どもは安心します

園長　齋藤　美智子

さくら保育園は、1980年４月に開園した認可施設です。「子どもの豊かな発達を保障」し、「生活を大事にする保育」「保護者と共に行う保育」「科学的なうらづけのある保育」をモットーにしています。０歳から５歳までの年齢別保育のほか、一時保育、特定保育、さらに子育て支援センター、児童デイサービス施設も併設しています。

多様な子育て支援機能を持つさくら保育園で働く職員には、常勤、パートタイムに関わらず長く続けてほしいと願っています。同じ保育士がそばにいると子どもたちは安心します。そのために私たちは、働きやすい環境も大切にしています。朝の受け入れ、夕方のお迎え、産休時の代替えなど、常勤職員だけでは補えない部分を、勤務時間や日数を調整しながらパートタイムで働く職員に支えてもらっています。また、パートタイム職員の皆さんには、年１回ですが子どもたちがお昼寝をしている時間を利用して日々の保育に役立つ「わらべうた研修会」なども行っています。

今回の求人は、常勤職員の産休によるものでした。当初、フルタイムで働ける方を募集していたのでが、なかなか見つかりませんでした。そこで、もっと柔軟に考えることにしました。職員会議で話し合い、子育て支援センターで専任保育士をサポートする保育士を募集することにしたのです。勤務時間も負担の少ないパートタイム。それも火曜日から金曜日の午前中を保育士２人で交替勤務する体制に変更しました。県保育士・保育所支援センターにも求人をお願いしました。そこからの展開は早かったですね。実生活では、お二人のお子さんを育てる社会経験も豊富な齋藤美保先生と出会うことができました。意欲的な方で本当によかったと思っています。保育士と保育園の橋渡し役を担う支援センターにも感謝しています。保育士不足は、当園に限ったことではありませんので、支援センターの活用を所長会議などで伝えていきたいと思っています。

福島県保育士・保育所支援センター　保育所・児童クラブでのお仕事を紹介します!!

「保育士として再就職したいがブランクがある」「子育てと両立できるか不安」などの理由で、保育士としての再就職を悩んでいる方、あきらめている方はいませんか？そんな悩みをぜひご相談ください。

相談、求人情報の提供、就職支援まで「保育士再就職コーディネーター」がサポートいたします。

登録していただける方

保育士の資格をお持ちの方

1 求職登録

- 来所・電話・メール等で、ご相談ください。
- 求職をご希望の方は、「求職票」に記入のうえ、ご登録ください。

※求職票で得られた個人情報は、本事業以外では使用いたしません。

→ 福祉人材センター（保育士・保育所支援センター）へ登録

2 求人検索

- 月２回、求人情報を発送します。また、来所・ホームページで、求人情報をご覧いただけます。

3 職業紹介

- 求職活動について、一緒に話し合います。
- 希望する保育所等へ、紹介状を発行します。

自分に合った職場を見つけるために、就職先の見学をおすすめします。

4 応　募

- 求職情報にある応募書類や労働条件を、よく確認してください。

→ 選考（面接など）

5 就　職

- 就職が決まったら、「求職票」を取り下げます。

開催日　月曜～金曜
※土・日曜、祝日、12月29日～1月3日は休館

受付時間　午前9時～午後5時

TEL　024-521-5662

メール　jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

住　所　〒960-8141
福島県福島市渡利字七社宮111
福島県総合社会福祉センター内

求職登録まではちょっと…

将来的に再就職したいけれど不安や迷いがある、という方の相談に応じます。保育所の採用状況や勤務体制などの最新の情報を提供いたしますので、お気軽にご相談ください。

保育士再就職支援セミナーを開催しています！

保育士の資格は持っていても、結婚や育児で現場を離れてブランクのある方、資格はあるけれど現場未経験の方を対象に、安心して保育所に就職できるようにすることを目的にセミナーを開催しました。平成26年度は22名の方が参加され、すでに再就職された方もいらっしゃいます。平成27年度以降も開催予定ですので、詳しくは福島県保育士・保育所支援センターまでご連絡ください。

内　容（平成26年度の例）

【1日目】	【2日目】	【3日目】
●保育所保育指針・新制度への理解 ●保育所の現状について	子どもの発達・育ちとかかわり方 0・1・2歳児、3・4・5歳児	保育所にて 職場体験

●編集・発行／社会福祉法人 福島県社会福祉協議会　福島県保育士・保育所支援センター
〒960-8141 福島県福島市渡利字七社宮111　TEL 024-521-5662　平成27年3月